



事業主の皆様へ

生徒の声

- ・私は、作業学習や実習でわからないことを相談できるようになりました。
- 人と話をしたり、人のお世話をしたりするのが好きなので、介護の仕事に就きたいです。
- ・小学生の頃にレストランのシェフを見てすごいと思い、自分も調理の仕事に就きたいと思いました。実習では初めは仕事が難しかったけど、だんだんできるようになってくるのが自信になりました。将来は楽しく仕事をしたいです。

学校概要

▼通学区域

宇治市・城陽市

▼障害種別 / 設置学部

知的障害・肢体不自由 / 小学部・中学部・高等部

▼敷地面積 / 施設規模

約23,583m² / 校舎・体育館等 約15,657m²

▼主な通学方法

「自主通学」（対象：中学部・高等部）

・公共交通機関（電車・バス）利用や自転車での通学

「スクールバス通学」（対象：全学部）

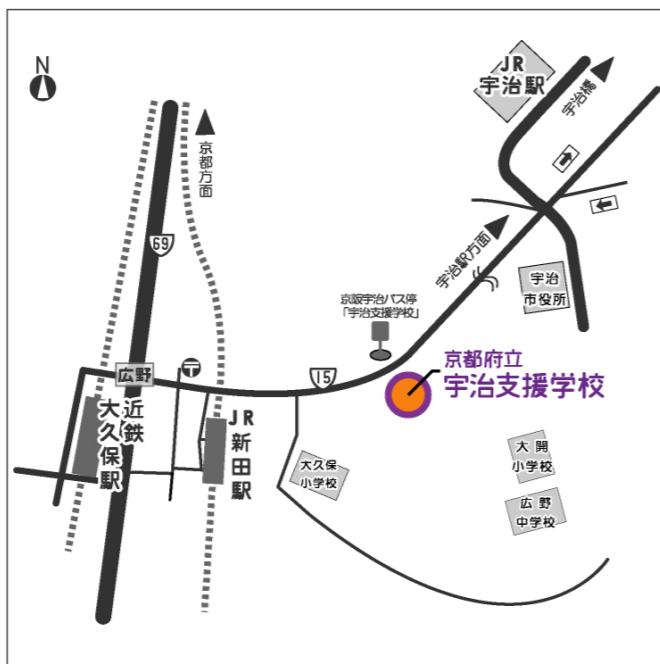
▼アクセス

・JR奈良線 - 新田駅から徒歩約8分

・近鉄京都線 - 大久保駅から徒歩約12分

・京阪宇治バス - JR宇治駅バス停から約7分

アクセス地図



京都府立宇治支援学校 高等部生徒の

職場実習の協力と雇用のお願い



喜びはともにあること

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10

TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/uji-s/>



喜びはともにあること
京都府立宇治支援学校

京都府立宇治支援学校

京都府の特別支援教育を推進し、ノーマライゼーション社会の推進に貢献する学校

こんな学校です！

- 平成23年度宇治市広野町に開校した学校です。
- 知的障害・肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校です。
- 小学部（1年生/6歳）から高等部（3年生/18歳）までの宇治市・城陽市に住んでいる児童生徒が学んでいます。
- 宇治支援学校は、一人一人の自立と社会参加を実現するために、児童生徒が地域と密着した日々の中で、生活する力、働く力といった生きる力を育む教育を推進しています。



本校生徒が接客を行う
喫茶店「Café JOY」



- 接客やチームで働くことを通じて、コミュニケーション能力や、基本的なマナーの力を身に付ける学習を進め、自立と社会参加を目指しています。



「働く力」の学習をしています！



作業学習

- 喫茶・農園芸・窯業・ビルメンテナス等の作業に取り組んでいます。
- 働くための基本的な力（意欲・集中力・持続力・報告等）を身につけるための学習です。

校内実習

- 職場実習に向けた、より実践的な学習です。
- 企業様より実際の仕事（部品組立・箱折り等）をお預かりし、作業を行います。

職場実習

- 学校教育の一環として行います。
- 作業学習や校内実習で身に付けた働く力を、実際の社会の中で試して、実践的なものにしていく学習です。

■1年生：校内実習・施設、会社で体験 ■2年生：施設、会社で体験実習(異業種3回) ■3年生：進路先決定のための実習

働きたい！

主な実習先

●主な実習先・就労先での作業内容

製造業

- 箱折り・ラベル貼り
- 段ボール封入・照明器具組立 等

宿泊・飲食

- 調理補助・食品洗浄
- ルームメイキング 等

卸・小売業

- ス-/パ-の青果・鮮魚・惣菜
- 食肉加工・商品の品出し 等

医療・福祉

- 事務補助・介助補助 等

サービス

- リネン関係・引越し補助・清掃
- 産業廃棄物の分別作業 等

その他

- 多様な職種で活躍しています！

●実習について

- 実習中や通勤中の事故やケガにつきましては、学校内での扱いと同様に（独）日本スポーツ振興センターの災害共済給付で対応いたします。
- 実習先で万が一、物を壊すなどの賠償責任が発生した場合に対応するため、「インターナシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険」に加入しています。

教育活動の一環ですので、
賃金・交通費等の支払いは必要ありません。

こんな職場環境で力を発揮します！

●分かりやすい作業内容

- 口頭での指示に加えて、実際にやり方を見せていただくと、仕事が覚えやすいです。
- 文字・図・写真等で手順を示したものを置いていただくと、自信を持って正確に仕事ができます。

●具体的なチェック項目

- 「この目盛りまで」「〇個作ります。」「〇時まで」等、具体的な指示が有効です。

●明確な区切り・終わり

- 「ここまでやる」が分かると、より集中してやりきることができます。

卒業後の アフターケア

就労後、3年間については、卒業後巡回訪問（アフターケア）を実施し、安定した雇用状態を保てるように支援しています。また、地域の「障害者就業・生活支援センター」と連携し、必要に応じて事業所にお伺いし、様々な相談に応じています。

